

●島町健康麻雀クラブ初めての三連刻完成



三連刻（麻雀クラブ採用）『フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

●三連刻（さんれんこー）とは、出現率 2500 回に 1 回、[麻雀](#)におけるローカル役のひとつ。333・444・555 など、同色で 3 つ連続した刻子を作ることにより成立する。2 翻。喰い下がりはない。比較的広く知られているローカル役だが、現在の一般的なルールでは採用しない場合が多い。

●牌の構成がよく似た役として、345・345・345 のように同一順子を 3 つ揃えた一色三順という役がある。例えば手牌中に 333444555 とある時、333・444・555 と取るなら三連刻になるが、345・345・345 と取るなら一色三順になる。三連刻と同じく一色三順もローカル役だが、三連刻も一色三順も両方採用する場合、どちらにとるかで得点が変わってくることもある。333444555 が手の内で完成していれば、三暗刻が複合することにより三連刻に取ったほうが高くなる。しかし、33344455 から 5 を出あがりした場合や、[ジュンチャン](#)が絡む場合は、三連刻に取るよりも一色三順に取ったほうが高くなる。いずれにせよ、得点がより高くなるほうを選択することになる（[高点法](#)）。下の牌姿例も参照のこと



で三連刻になる。 なら対々和のみである。



待ちは の変則三面張、[高目](#)の五萬で三連刻になった形。ツモ和了の場合はタンヅモ三暗刻三連刻で跳満、ロン和了の場合はタンヤオ三連刻で子 5200 点である。一色三順を採用するなら、ロン和了でタンピン一色三順の切り上げ満貫になる。したがって一色三順ありの場合のロン和了は、三連刻に取るより一色三順に取ったほうが高くなる。一方ツモ和了の場合は、タンピンツモ一色三順となるが満貫止まり。三連刻に取って跳満とするほうが高い。このように三連刻と一色三順はそれぞれを採用するしない得点計算が煩雑になる。とはいえ、一般的には三連刻も一色三順も採用しない場合がほとんどである。その場合は（つまり一般的なルールの場合）この手はロン和了でタンピン一盃口の子 3900 点、ツモ和了でタンヅモ三暗刻の満貫である。



111・222・333 を3つの刻子として見た場合この手は三連刻のみの2翻だが、123・123・123 と見ればピンフジュンチャン一盃口で計5翻となる。つまり三連刻に取るよりも高くなる（一色三順を採用していれば一盃口の代わりに付いて6翻）。また、ロン和了ではなくツモ和了の場合でも、ツモ三暗刻三連刻の計5翻より、ピンヅモジュンチャン一盃口の計6翻と取る方が高い。つまりこのようなケースでは、ロン和了の場合もツモ和了の場合も三連刻に取らずジュンチャンに取ったほうが高いということになる。

一色三順（麻雀クラブ採用） とは、麻雀のローカル役のひとつ。同色の同一順子を3組揃えた時に成立する。ルールにより門前に限り2翻^山または3翻とする場合と、門前で2

翻、食い下がりで1翻^山、または門前で3翻、食い下がりで2翻にするルールがある。

一盃口に同一順子をもうひとつ加えた和了形である。門前の場合の牌の構成は三連刻と同じになるが、どちらに解釈するほうが点数が高くなるのかは一概には言えない。中国麻雀においては正規の24点役一色三同順として健在だが、日本ではローカルルール扱いである。

(例) 純チャンが絡むケース



萬子の部分を111,222,333として三連刻2翻+三暗刻2翻と解釈するよりも、123,123,123として一色三順3翻+純チャン3翻とするほうが高くなる。ツモっても結果は変わらない。

(例) 対々和が絡むケース



こちらは逆に一色三順3翻と解釈するよりも、三連刻2翻+三暗刻2翻+対々和2翻とする方が高くなる。ツモった場合は役満の四暗刻が成立してさらに高くなる。

(例) 両方が絡むケース



三連刻2翻+三暗刻2翻+対々和2翻と解釈しても、一色三順3翻+純チャン3翻と解釈しても6翻となる。符は前者の方が高いがどちらに計算しても跳満であり結局同じ点数になる。ツモれば上の例と同じく四暗刻が成立して役満。

三連刻か三順子か？

三連刻部分を一組もポンせずに完成させた場合、それは同じ三つの順子と見なす事も出来ます。

しかし、三連刻は刻子三組となるため、三つの順子と見なす事で得られる役と三連刻の双方を認める事は出来ません。

このような場合は、高点法の原則に従い、高くなる方を探ります。

多くの場合三連刻にした方が高くなりますが、必ずしもそうなるとは限りません。

例えば、以下の手で考えてみましょう。



この形の場合、一万・二万・三万の三連刻と取れば、三暗刻(両翻)・三連刻(両翻)の四翻となります。

- 三連刻なしのルールでも、三暗刻があるので両翻となります。

ですが、この時一万・二万・三万の三連刻を三つの順子に見立てれば、



平和(一翻)・純全帯幺(三翻)・一盃口(一翻)で五翻となり、三連刻と見るより一翻多くなります。

- 一色三順(門前両翻) ありのルールであれば、六翻にもなります。

このように、必ずしも三連刻と取るのが得策ではない場合もあります。